



記入日	西暦 2021 年 1 月 11 日
実践団体名	長岡技術科学大学
実践番号	③
タイトル	学習指導要領との整合性の確認
実践担当者のお名前	山口隆司・渡利高大・ヌルアデリン

実践にかかった金額	回答不可
実践の準備にかかった時間	2 ヶ月
実践活動を実施した日時	西暦 2021 年 10 月～11 月
実践の所要時間	2 ヶ月
実践の運営側で動いた人の人数	3 人
防災教育の対象者の属性	小学生（低学年）・教職員/保育士等・社会人/一般・防災関係者
防災教育の対象者の人数	- 人
実践を行った都道府県と市区町村	新潟県長岡市
実践を行った具体的な場所	長岡技術科学大学など
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	学習指導要領について知識を持った人

達成目標	これまで開発を行ってきた防災ワクチン®教材について小中学校との学習指導要領と整合性について確認し、展開可能な授業を明らかにする	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	大いに



<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>1. 学習指導要領の確認</p> <p>小中学校の学習指導要領について確認し、該当する単元を調査した。</p> <p>その結果、小学校3年生から中学3年生までの理科、社会、国語、技術の教科で、本防災ワクチン®教材が適用可能であった。</p> <p>2. ブレーカー実験キットを活用した防災学習指導案の作成</p> <p>これまで行ってきた出前授業をもとに防災学習指導案を作成した。</p>	
<p>得られた成果</p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領との整合性を確認したところ様々な授業で展開可能でありそれぞれの授業に合わせて最適化していく必要が明らかになった ・ 実際に防災学習指導案を作成することで小学生に学んでもらいたい重要なところを再確認できました、不足しているところが明らかになった。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦労・工夫</p> <p>やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践現場の意見を配慮しながら調整することに苦労した。 	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について

1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください

関係者の名前・団体名	NPO 法人ふるさと未来創造堂
関係者の説明	学習指導要領との整合性を確認
関係者の連絡先	0258-94-6119 https://www.furusato-mirai.org/

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ

1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください

伝えたい相手	
伝えたい内容	